



新改秀作議員

環境

環境問題について

町長／取り組んでいく

新改 環境基本条例の制定の考え方地球温暖化対策、EM菌を使った河川浄化、プール清掃についての町長の考え方を伺う。

町長 現在の環境美化条例では不十分な部分があるので環境基本の内容を追加し23年度施行を予定しています。地球温暖化については「さつま町地球温暖化対策実行計画書」を策定し、毎月の結果を検証していきます。EM菌については検討します。

※EM菌の「EM」とは、有用な微生物群という意味です。

元来、地球上に存在した、乳酸菌や酵母、光合成細菌などの微生物を抽出、培養したものを「EM菌」と呼び、現在では、農業、畜産、水産、資源リサイクルなど幅広く活用されています。

小中一貫教育について

町長／連携型をめざします

新改 人間成長における重要な時期である小中学

校の一貫教育は大事な事業と考えるが、具体的な構想について伺う。

町長 小中一貫教育は、学習指導や生活指導等において大きな意味があると考えます。現在は「さつま町小中高連携研究会」が組織され教員同士の交流が深められています。将来的には連携型の一貫教育をめざし、モデル校の設置を考えております。

(その他の質問)

・町の情報発信基地となるような充実した図書館建設の考えはないか。



山崎小で行われた山崎中の先生による授業の様子

公共工事

国県の土木工事の入札は

町長／分割発注が出来る要望を



内田芳博議員

内田 景気悪化が地方を疲弊させ回復の対策として、激特事業の工事区間を分割発注し、D級の入札参加を国に要請を講じる考えは。

町長 町も九州地方整備局や川内川河川事務所に對し、河川激特事業の発注は地元業者にと、特段のお願いと要望をしております。今後も機会があることに多くの業者が参入しやすいように、工事分割発注を関係機関に要望をしてまいります。



通学路として整備される道路

通学路の整備について

町長／22年から5カ年事業で

内田 宮之城中学校は、来年度に旧宮之城高等学校へ移転するが、屋地交差点入口から校門までの町道拡幅整備は。

町長 平成22年度からの新規事業「地域再生基盤強化交付金事業」で整備する計画で現在採択申請中でありま。整備については、人家等建物が多いことから現道を生かした形で側溝改修、舗装改修等に対応したいと考えております。